講習のカリキュラム（中学校）

■講習カリキュラムの方針	■職場体験の成果を活かしたキャリア教育の実践と支援 ①職場体験を成功させ、成果を引き出すための方策 ②中学校の授業にキャリア教育を取り入れるための方法 ③キャリア教育の実践（アクティブ・ラーニングの実践）		
	時　間	テーマと主たる内容		
1	9:30 ～ 11:00	□中学校と中学生の理解 ・中学生の状況把握と進路先の理解 ・高校での教育、高校生の進路選択における課題の理解 ・職業教育、労働市場、雇用失業情勢、労働法制の理解 □中学校におけるキャリア教育の理解 ・働くことと高校・大学等で学ぶこととの関連を理解するための授業の開発の立案と実施	講義 ○	演習
2	11:10 ～ 12:40	□中学校でのキャリア教育の実践（職場体験前と体験後） ※生徒が職業に興味を持つための育成プログラムを考える 体験をキャリア形成に結びつけるための授業方法を考える □職場体験を行う目的と教員が考える着地点（効果）の再確認 ・生徒が理解すべきこと（ねらい、期待される成果など） ・生徒が実践すべきこと（マナー、学ぶべきことの確認など） ・担当者が理解・実践すべきこと（キャリア教育における位置付け、体験のカリキュラム、対生徒・受け入れ先・保護者・その他）	△	○
	休憩　～13:40			
3	13:40 ～ 15:10	□キャリア教育推進につなげるためのプログラム開発 ※職場体験を中核にして先生の「課題」に対して、どのように応えていくか ・職場体験の成果を踏まえて、学級活動の中で、発展的な学習を実施していくのかについて、グループワークを通して考える ・グループで作成した案を、他のグループのメンバーとシェアすることでより多くの実践案（日常型・イベント型）に触れる	△	○
4	15:20 ～ 17:00	□キャリア教育の実践（アクティブ・ラーニングの実践） ・グループワーク、グループワーク・ファシリテーションによってキャリア教育を実践するためのスキルを学ぶ ・グループワークの実践（職業と課業の分析：職場体験との結びつけによって、職業や働くことに対する興味を引き出す） □成果発表と参加者同士の交流・情報の共有 ・各グループからの発表と評価 ・振り返りと総括	△	○